

日時：平成28年11月5日（土）13:30～14:00

場所：一橋講堂 2階講堂

議長：大石和徳（規程により大会長）

## 議事

本年度の大会について：大石和徳大会長より概要が報告された。

庶務報告：会員動向が報告された。会員数が675人に減少した。

山村好弘氏（功労会員）、松田肇氏（評議員）、塩川優一氏（名誉会員）、原耕平氏（功労会員）のご逝去が報告された。

新名誉会員として、竹内勤氏が報告された。（任期：2017年1月1日～）

新評議員として、山崎浩氏、森本徳仁氏が報告された。（任期：2017年1月1日～）

評議員退会者として廣田良夫氏、堀尾政博氏が報告された。

編集報告：平成28年度BEST PAPER AWARDに筑波大学の我妻ゆき子教授（責任著者）に論文に決定したと報告された。投稿については、9月末現在で49編。過去3年間の投稿数の推移をみると毎年約2割増しで増加中と報告された。Reject率は、2011年は5%だったのが、2016年は35%と増加したと報告された。トムソンロイター社へのIF申請状況について報告があった。一盛和世先生より提案のあった“ELIMINATION OF LYMPHATIC FILARIASIS - A PacELF Success”について、規定の掲載料（学会員・非学会員割引APCの適用）で進めることに決定したと報告された。

会計報告：平成27年度決算、平成28年度中間会計、平成29年度予算が報告された。

学会賞・相川正道賞・研究奨励賞について

学会賞：金子明氏（大阪市立大学）が受賞

相川正道賞：前野芳正氏（藤田保健衛生大学）が受賞

研究奨励賞：該当者なし

平成29年度大会について：狩野繁之次期大会長より概要が報告された。

第58回日本熱帯医学会大会・第32回日本国際保健医療学会学術大会・第21回日本渡航医学会学術集会合同大会（略称「グローバルヘルス合同学会2017」）

日程：2017年11月24日（金）～26日（日）

開催地：東京大学本郷キャンパス

平成30年度第59回大会について：大会長は、長崎大学熱帯医学研究所所長の森田公一氏に決定したことが報告された。

小林富美恵理事（男女共同参画推進委員長）から、今大会シンポジウムの概要と託児所設置について報告された。

一盛和世理事（男女共同参画委員）から、ビジョンの明確化、シンポジウムの継続化、女性賞の設置、個別相談窓口の設置について、今回のシンポジウムで提案したいと報告があった。

神馬征峰理事（国際委員長）が欠席のため、理事長より、世界熱帯医学マラリア大会（ICTMM）が2016.9.18～22までオーストラリア・ブリスベンで開催されたとの報告があった。4年後のICTMMはタイ・バンコク、8年後はフランス・リヨンでの開催予定であることも追加報告された。

門司和彦理事（史資料委員会）より、今年度の活動報告がなされ、将来に生きるようなアーカイブス化を考えていることが報告された。

平山謙二理事より、日米医学協力計画汎太平洋新興感染症国際会議が、2017.2.7～2.10までソウルで開催されることが報告された。

狩野理事長より、平成29年1月から一般社団法人化する学会の「定款」が承認されたと報告があった。